

2013 年度（平成 25 年度）
第 2 回 応用地形判読士資格検定試験

受験から登録までの手引き

一次試験

試 験 日：2013 年 7 月 13 日（土）
受験願書受付け：2013 年 4 月 10 日～同年 5 月 13 日
合格発表（予定）：2013 年 9 月 10 日
登録期間（予定）：2013 年 9 月 10 日～2017 年 10 月中旬

二次試験

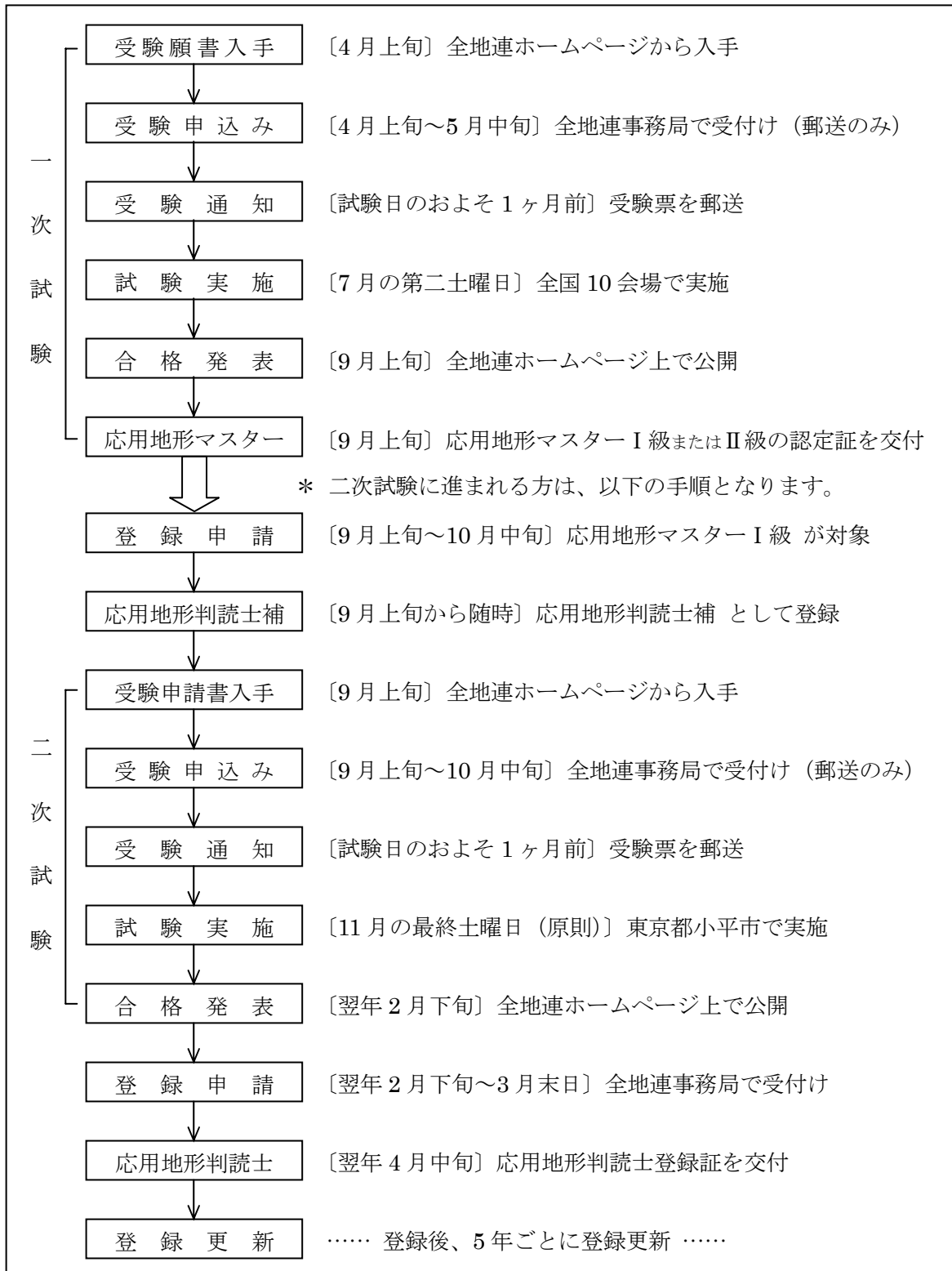
試 験 日：2013 年 11 月 30 日（土）
受験申請書受付け：2013 年 9 月 10 日～同年 10 月 15 日
合格発表（予定）：2014 年 2 月 24 日
登録期間（予定）：2014 年 2 月 24 日～同年 3 月 31 日

2013 年 4 月



一般社団法人 全国地質調査業協会連合会

「応用地形判読士」の資格取得まで



※ 日程の詳細は、表紙を参照してください。

目次

I. 制度の概要	1
1. 制度の主旨	1
2. 試験制度	2
II. 一次試験	3
1. 概要	3
2. 受験資格	3
3. 試験の構成	3
4. 受験の手続き	4
5. 受験票の送付	7
6. 受験	8
7. 受験後	10
III. 登録（応用地形判読士補）	11
1. 概要	11
2. 資格	11
3. 登録の手続き	11
4. 登録	13
IV. 二次試験	14
1. 概要	14
2. 受験資格及び試験の免除	14
3. 試験の構成	14
4. 受験の手続き	15
5. 受験票の送付	18
6. 受験	19
7. 受験後	21
V. 登録（応用地形判読士）	22
1. 概要	22
2. 資格	22
3. 登録の手続き	22
4. 登録	24
VI. 登録更新【対象登録年月日：2014年4月1日】	25
1. 概要	25
2. 登録更新の要件	25
3. 登録更新の手続き	27
4. 登録更新	30
VII. その他	31
1. 個人情報の保護	31
2. 不可抗力による試験の中止等	31
3. e-learning について	31
4. 参考図書	31
5. CPD の自己管理	32

I . 制度の概要

I . 制度の概要

1. 制度の主旨

地形は、誰でも見るすることができます。地形を見る眼を養うことで、あらかじめ安全性の高い場所を選択することや、災害時に身を守ることができるようになります。また、地形図を読み慣れた山の愛好家は、登山中の自分の位置を特定することや、地形図を眺めながら山容をイメージして登山している気分を楽しむことができます。

一方、地形図や空中写真を用いる地形判読技術では、特定の成因によって形成された地形の種類を認定する正確さと精度が必要となります。また、社会資本を整備する上からは、地形の構成素材である地質を想定し、地形の種類と周辺地形との相対位置とを勘案して、地形リスクを適切に判断できることが重要です。つまり、地形判読に携わる技術者に求められる能力は、判読技術に留まらず、地質を含む広範な知識と経験、並びに洞察力が不可欠です。

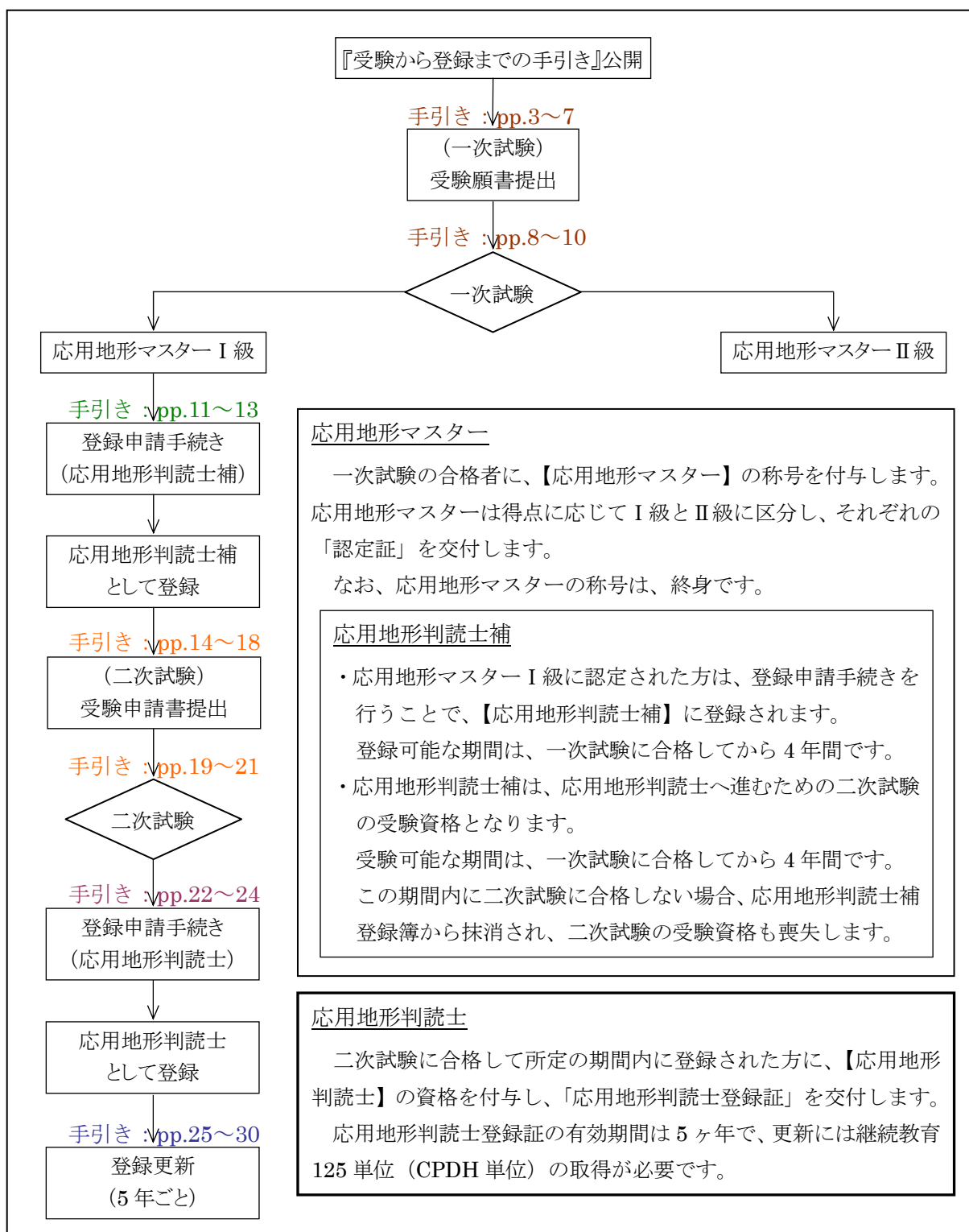
“地形と地質の判る技術者”により判読された地形情報の活用は、脆弱な地質状況という特殊事情を抱える日本の建設事業の安全・安心に繋がるものであります。

<創設目的>

- ★ 地形と地形判読に関する知識を身につけ、“防災・減災”に役立てる人材を広く育成する。
- ★ 優れた判読技術を有し、地形リスクを判断できる応用能力を修得した技術者を認定する。
- ★ 応用地形判読士を利活用することの有用性を広め、当該技術の普及と関連技術者の育成を図る。

I. 制度の概要

2. 試験制度



Ⅱ. 一次試験

Ⅱ. 一次試験

1. 概要

一次試験は、地形判読に関する基礎知識及び専門知識を問う、学科試験です。

2. 受験資格

受験資格の制限はありません。どなたでも受験していただけます。

3. 試験の構成

試験日 2013年7月13日(土)

試験時間 9時30分～12時30分(科目1-1と科目1-2)

13時30分～15時30分(科目1-3と科目1-4)

試験科目 科目1-1: 地形・地質・地形判読などに関する基礎知識 [50問50点満点]

科目1-2: 地形・地質・地形判読などに関する専門知識 [20問20点満点]

科目1-3: 地形判読に関連する地形・地質等に関する専門知識(例えば平地)
[1問50点満点]

科目1-4: 地形判読に関連する地形・地質等に関する専門知識(例えば山地)
[1問50点満点]

※ 科目1-1と科目1-2は多肢択一式(マークシート).

科目1-3と科目1-4はそれぞれ複数の問題から1問を選択して論述(800文字以内).

Ⅱ. 一次試験

4. 受験の手続き

1) 必要書類の入手

受験に必要な書類は、全地連のホームページからダウンロードしてください。無料です。

全地連ホームページ <http://www.zenchiren.or.jp/>

2) 書類の作成

申請時に提出する書類は、＜受験願書／写真票（様式-1）＞のみです。

受験願書は、以下の要領にしたがって作成してください。

① ＜受験願書／写真票＞には、表面と裏面とがあります。

表面は必須項目です。すべての欄に記入してください。裏面の記載は、任意です。

② 記入はすべて黒インクのボールペンを使って、丁寧な字ではっきりと記入してください。

③ 申請日、生年月日その他は、西暦で記入してください。

④ 一次試験受験地欄には、6. 2) 受験地（8 ページ）から希望する一つを選択して、ご記入ください。なお、申込み後は、受験地の変更は原則としてできません。

⑤ 氏名には、略称や雅号などを用いないでください。

⑥ 年齢は、申請日で記入してください。

⑦ 現住所欄は、居住地の住所等を記入してください。本人確認のため、受験票及び合否通知等は、現住所に記載されている住所宛に郵送します。

⑧ 連絡先欄には、最も確実に連絡のとれる電話番号、ファックス番号、メールアドレスを記入してください。このとき、行末のいずれかを選択してください。

⑨ 所属機関には、研究機関や学校などを含みます。勤務先（自営の場合は自営として）及び所属部課名、またはこれに相当する事項を記入してください。また、申請時点で無職の方は、「なし」と記入してください。

⑩ 受験料振込欄には、振込手続きを行った月日を記入してください。

振込依頼人が受験者と異なる場合は、振込依頼人名をご記入ください。

複数名の受験料をまとめて振込まれる場合は、受験者全員の氏名と人数を記入してください。

⑪ 裏面にある“最終学歴”“保有資格”“判読経験”欄の記入は任意ですが、結果の分析の基礎資料などとなりますので、できるだけご記入ください。

Ⅱ. 一次試験

写真票は、以下の要領にしたがって作成してください。

- ① 申請日前3ヶ月以内に撮影した、本人であることが明瞭に確認できる写真（無帽，正面，上三分身）を使用してください。
- ② 眼鏡使用の方は、着用時の写真。
- ③ 大きさは縦5cm×横4cm程度として、カラー，白黒は問いません。
- ④ 裏面に氏名を記入し、所定の位置に、剥がれないように貼付けてください。
- ⑤ 写真の下欄に、撮影月日を記入してください。
- ⑥ 一次試験受験地欄及び氏名欄は、受験願書と同じ記載をしてください。

《注意事項》

※試験会場の収容人数が限られています。そのため、受験申込みをお受けできない場合があることを、あらかじめご承知おきください。お早めに受験願書を作成して、お申込みください。

- ・申請内容に誤りや虚偽があった場合、受験することができなかつたり不合格となつたりすることがあります。
- ・身体の不自由な方等で受験に際して特別な措置を希望される場合、申込み時に文書で申請してください（文書の様式は問いません）。

作成した＜受験願書／写真票＞は、後の確認用として、複写し保管することをお勧めします。

Ⅱ. 一次試験

3) 受験の申込み

<受験願書/写真票>を作成し、全地連事務局宛に郵送してください。

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-5-13 内神田 TK ビル 3階
一般社団法人全国地質調査業協会連合会 事務局 応用地形判読士係
お問い合わせ電話番号 (03) 3518-8873

受付け期間：2013年4月10日～同年5月13日

《注意事項》

- ・申込み後は、提出書類の返却はいたしません。
- ・**受付けは郵送のみ**とします。ファックス、電子メール、持参による申込みはできません。
- ・受付け期間内の消印が有効です。期限を過ぎた消印の書類は、受理できません。
- ・受付け期間内であっても試験会場が定員に達した以降は、受験申込みをお受けできません。
- ・申込み以降に現住所や氏名が変更になったときは、全地連事務局へ必ずご連絡ください。

4) 受験手数料の振込み

受験手数料は12,600円(税込み)です。

受付け期間内に、次の口座にお振込みください。

三菱東京UFJ銀行 本郷支店
普通預金 口座番号 1017677
(社)全国地質調査業協会連合会

受験手数料は、以下の要領にしたがってお振込みください。

- ① 振込み手続きの際、振込依頼人名は受験者氏名で記入してください。
- ② 振込依頼人が受験者と異なる場合は、受験願書の受験料振込欄に振込依頼人名をご記入ください。
- ③ 複数名の受験料をまとめて振込まれる場合は、振込み手続きの依頼人名は代表者1名の氏名で手続きを行い、受験願書の受験料振込欄に受験者全員の氏名と人数を記入してください。

《注意事項》

- ・申込み後の受験手数料の返還はいたしません。
- ・振込みに要する送金手数料については、受験者でご負担ください。
- ・受験手数料は、現金書留、定額小為替、普通為替等では納入できません。
- ・インターネットバンクを利用し納入される方は、取引画面のプリントを願書に同封してください。
- ・全地連は、受験手数料振込みの領収書は発行いたしません。

Ⅱ. 一次試験

5. 受験票の送付

1) 送付の時期

試験日のおよそ1ヶ月前に送付します。

《注意事項》

- ・6月下旬になっても受験票が届かないときは、全地連事務局にお問い合わせください。

2) 送付の方法

受験票は、受験願書に記載してある現住所宛にお送りします。

受験票に記載してある受験地と氏名をご確認ください。

《注意事項》

- ・受験票の記載に間違いがあるときは、全地連事務局にお申付けください。ただちに受験者データを修正して、再発行いたします。
- ・受験票は、試験当日必ず持参してください。
- ・受験票は、試験後に合否通知が送付されるまで、大切に保管してください。
- ・受験番号は、応用地形判読士として登録するときまで使います。＜受験願書／写真票＞の複写に転記するなどして、忘れないようにしてください。

Ⅱ. 一次試験

6. 受験

1) 試験日時

試験日時：2013年7月13日（土） 9時30分～15時30分

午前の部：9時30分～12時30分 多肢択一式問題（全70問）

午後の部：13時30分～15時30分 記述式問題（全2問）

2) 受験地

受験地	施設名／所在地／電話番号／アクセスマップ		
札幌	札幌総合卸センター 共同会館	札幌市東区北6条東3丁目	TEL (011) 721-1101
	アクセスマップ http://www.sp-oroshi.jp/map.html		
仙台	宮城県建設産業会館	仙台市青葉区支倉町 2-48	TEL (022) 225-8851
	アクセスマップ http://miyakenkyo.or.jp/pdf/kaikan_ss02.pdf		
新潟	新潟テルサ	新潟市中央区鐘木 185-18	TEL (025) 281-1888
	アクセスマップ http://www.n-terssa.jp/access/		
東京	TFTビル 東館 9階	江東区有明 3-6-11	TEL (03) 5530-5001
	アクセスマップ http://www.tokyo-bigsight.co.jp/tft/access/index.html		
名古屋	愛知県青年会館	名古屋市中区栄 1-18-8	TEL (052) 221-6001
	アクセスマップ http://www.aichi-seinenkaikan.or.jp/acsess.html		
大阪	天満研修センター	大阪市北区錦町 2-21	TEL (06) 6354-1927
	アクセスマップ http://www.temmacenter.com/tenma/access.html		
広島	RCC文化センター	広島市中区橋本町 5-11	TEL (082) 222-2277
	アクセスマップ http://www.rccbc.co.jp/map.html		
高松	サン・イレブン高松	高松市松福町 2-15-24	TEL (087) 823-4550
	アクセスマップ http://kakentaka.or.jp/modules/topFlash/index.php?id=38		
福岡	福岡県 中小企業振興センター	福岡市博多区吉塚本町 9-15	TEL (092) 622-0011
	アクセスマップ http://www.joho-fukuoka.or.jp/new/center/contents/map.html		
沖縄	浦添市産業振興センター	浦添市勢理客 4-13-1	TEL (098) 870-1123
	アクセスマップ http://yuinomachi.jp/access.html		

《注意事項》

- ・あらかじめ、所在地などにより試験会場の詳しい場所をご確認ください。
- ・施設への直接のお問い合わせは、お控えください。
- ・公共交通機関によるアクセスをご検討ください。

Ⅱ. 一次試験

3) 受験にあたって

- ・試験会場では、“地質調査技士資格検定試験”と“地質情報管理士資格検定試験”とを同時に実施しています。間違えのないよう十分にご注意ください。
- ・試験会場は、9時から入室できます。9時15分までには入室するようにしてください。遅刻された方には、受験をお断りする場合があります。受験していただく場合でも、終了時刻の延長はありません。
- ・席は受験番号で指定してあります。指定された席で受験してください。
- ・受験票は必ず持参し、会場担当者の指示にしたがって提示してください。また、試験中は、机の見えやすい位置に置いてください。
- ・次の文房具等をご用意いただき、試験会場へご持参ください。

鉛筆またはシャープペンシル（芯は黒色で HB 程度の硬さ）／プラスチック製消しゴム／拡大鏡／定規／三角スケール。
--

- ・文房具等の貸し出しはいたしません。
- ・携帯電話やアラーム音が出る機器は、入室前に必ず設定を解除し電源を切ってください。
- ・試験会場では、係員や試験監督の指示にしたがってください。
- ・不正行為（試験の進行を妨害する行為、他の受験者の迷惑となる行為、試験の公平性を損なう行為等）または試験監督の指示にしたがわないときは、即刻退場を命じます。この場合、すべての科目について採点から除外し、不合格とします。
また、試験後に、試験の公平性を損なう行為による合格が明らかになったときは、その合格を取り消しとし、その後の手続きもすべて無効とします。
- ・試験問題の内容に関する質問には応じません。問題用紙や答案用紙にページの欠落や不鮮明な箇所があった場合は、手を挙げて試験監督に申し出てください。
- ・多肢択一式問題の答案用紙（マークシート）の解答を修正するときは、記入跡が残らないよう、プラスチック製消しゴムを用いて丁寧に消してください。
- ・問題用紙は、試験終了後または途中退出の際に、各自お持ち帰りください。
- ・昼食や飲み物は、各自で調達してください。また、会場管理者からの指定があるときは、それにしてください。
- ・電力事情により、空調の使用が制限される可能性があります。温度調節のしやすい服装でご来場ください。

Ⅱ. 一次試験

7. 受験後

1) 正答発表

正答発表：2013年7月17日から3年間程度の期間、全地連ホームページに掲載します。

発表の対象は、試験問題及び多肢択一式問題の正解とします。

2) 合格発表と合格基準

合格発表日：2013年9月10日（予定）

合格通知：受験者全員に「合否通知」を郵送します。《発表日に発送》

合格者名簿（受験番号）を、全地連ホームページに掲載します。《発表日の午前中》

合格基準：応用地形マスターⅠ級／4科目すべての正答率が40%程度以上 かつ、

合計得点が満点(170点)の70%程度以上。

応用地形マスターⅡ級／4科目すべての正答率が40%程度以上 かつ、

合計得点が満点の50%程度以上70%程度未満。

上記の合格基準は、目安です。

その他：合格者には、「認定証（応用地形マスターⅠ級またはⅡ級）」を郵送します。

応用地形マスターⅠ級に認定された方には、＜応用地形判読士補登録申請書（様式

-3）＞及び＜応用地形判読士資格検定試験（二次試験）受験申請書（様式-2）＞を同封

します。

《注意事項》

- ・9月下旬までに合否通知が届かないときは、全地連事務局にお問い合わせください。
- ・得点や合否に関するお問い合わせ等については、ご遠慮ください。ご本人であっても、公開いたしません。

3) 登録

応用地形マスターⅠ級に認定された方は、合格してから4年間、登録申請手続きを行うことで、応用地形判読士補に登録されます。

登録は任意ですが、応用地形判読士補に登録することで、二次試験の受験資格が得られます。

ただし、応用地形判読士補に登録しても、登録証は発行いたしません。

詳細は、Ⅲ. 登録〔応用地形判読士補〕（11～13ページ）をご覧ください。

4) その他

応用地形判読士補への登録を希望されない応用地形マスターⅠ級、あるいは応用地形マスターⅡ級に認定された方は、登録の必要はありません。

ただし、一次試験に合格した記録は、全地連事務局が管理します。受験願書に記載した現住所や氏名を変更された際は、全地連事務局までご連絡ください。変更手数料は不要です。

Ⅲ. 登録（応用地形判読士補）

Ⅲ. 登録（応用地形判読士補）

1. 概要

応用地形マスター I 級に認定された方が応用地形判読士補となるには、所定の期間内に登録の申請をして、登録を受ける必要があります。

2. 資格

応用地形判読士補は、一次試験に合格してから 4 年間、二次試験の受験資格を有します。このとき、一次試験は免除されます。

ただし、この資格は、上記の二次試験までに合格しなかったとき、またはそれ以前に応用地形判読士として登録したときに、消滅します。

3. 登録の手続き

1) 必要書類の入手

登録に必要な書類は、応用地形マスター I 級の認定証とともにお送りします。

お手元がない場合は、全地連のホームページからダウンロードしてください。無料です。

2) 書類の作成

申請時に提出する書類は、＜応用地形判読士補登録申請書（様式-3）＞のみです。

申請書は、以下の要領にしたがって作成してください。

- ① 記入はすべて黒インクのボールペンを使って、丁寧な字ではっきりと記入してください。
- ② 申請日、生年月日その他は、西暦で記入してください。
- ③ 氏名には、略称や雅号などを用いないでください。
- ④ 年齢は、申請日で記入してください。
- ⑤ 現住所欄は、居住地の住所等を記入してください。
- ⑥ 連絡先欄には、最も確実に連絡がとれる電話番号、ファックス番号、メールアドレスを記入してください。このとき、行末のいずれかを選択してください。
- ⑦ 所属機関には、研究機関や学校などを含みます。勤務先（自営の場合は自営として）及び所属部課名、またはこれに相当する事項を記入してください。また、申請時点で無職の方は、「なし」と記入してください。
- ⑧ 一次試験合格の記録欄には、一次試験の合格年、一次試験の受験地及び受験番号を記入してください。
- ⑨ 登録料振込欄には、振込手続きを行った月日を記入してください。
振込依頼人が登録者と異なる場合は、振込依頼人名をご記入ください。
複数名の登録料をまとめて振込まれる場合は、登録者全員の氏名と人数を記入してください。

Ⅲ. 登録（応用地形判読士補）

3) 登録の申込み

<応用地形判読士補登録申請書>を作成し、全地連事務局宛に郵送してください。

受付け期間：2013年9月10日（予定）～2017年10月中旬* 【2013年度合格者】
～2016年10月中旬* 【2012年度合格者】

（上記の‘10月中旬*’は、二次試験受験申請書の受付け期限を意味します。）

上記の期間、随時受付けをしています。

二次試験の受験申請受付け期間中（2013年9月10日（予定）～同年10月15日）は、この登録申請書と（二次試験）受験申請書を同時に提出することができます。

《注意事項》

- ・申請後は、提出書類の返却はいたしません。
- ・受付けは郵送のみとします。ファックス、電子メール、持参による申請はできません。
- ・受付け期間内の消印が有効です。期限を過ぎた消印の書類は、受理できません。

4) 登録手数料の振込み

登録手数料は8,400円（税込み）です。

受付け期間内に、Ⅱ. 4. 4) 受験手数料の振込み（6ページ）に基づき、お振込みください。

振込用紙の依頼人欄には、次を参考に、受験番号とお名前を記入してください。

依頼人欄の記入例：

受験番号9876543の場合 → 9876543 全地連太郎（9876543 ゼンチレントロウ）

なお、応用地形判読士補の登録申請と二次試験の受験申請とを同時に行うときは、登録手数料と受験手数料との合計金額をお振込みいただくことも可能です。

《注意事項》

- ・申請後の登録手数料の返還はいたしません。
- ・振込みに要する送金手数料については、登録者でご負担ください。
- ・登録手数料は、現金書留、定額小為替、普通為替等では納入できません。
- ・インターネットバンクを利用し納入される方は、取引画面のプリントを登録申請書に同封してください。
- ・全地連は、登録手数料振込みの領収書は発行いたしません。

Ⅲ. 登録（応用地形判読士補）

4. 登録

1) 登録

申請に基づき、全地連事務局が《応用地形判読士補登録簿》に登録します。

応用地形判読士補登録簿は、2) に示す期間管理します。

応用地形判読士補に登録しても、登録証は発行いたしません。ただし、登録していることの証明が必要なときは、全地連事務局へご連絡ください。“資格登録証明書”を、有償で発行いたします。

2) 登録の期間

応用地形判読士補として認められるのは、次の期間です。

開始日：応用地形判読士補登録申請書を受理した日。

終了日：登録申請の受付期限を含む年度の3月末日（例えば2013年度の一次試験合格者は2018年3月31日）またはそれ以前に二次試験に合格して応用地形判読士として登録したとき。

なお、応用地形判読士補の資格には、登録更新制度はありません。

3) 登録事項の変更

登録後に連絡先（現住所、電話番号、ファックス番号、メールアドレス等）、氏名、所属機関が変更になったときには、「変更届」が必要です。全地連事務局へ、必ずご連絡ください。変更手数料は不要です。

4) 登録の取消し

応用地形判読士補が虚偽または不正に基づき登録を受けた場合、その事実を認めた時点で合格の取消し／資格の剥奪／登録の抹消とします。また、その後の手続きも、すべて無効とします。

IV. 二次試験

IV. 二次試験

1. 概要

二次試験は、応用地形判読士として必要な技術能力を問う、実技試験です。

2. 受験資格及び試験の免除

受験資格を有する方は、応用地形判読士補です。

一次試験に合格してから4年間、一次試験免除のもと、二次試験を受験していただけます。

3. 試験の構成

試験日 2013年11月30日(土)

試験時間 10時0分～12時0分(科目2-1と科目2-2)

13時0分～15時0分(科目2-3と科目2-4)

試験科目 科目2-1: 地形図と空中写真を判読して 地形判読図・地形分図などを作成
(例えば平地) [1問]

科目2-2: 科目2-1で作成した図に基づき 応用地形学的所見などを論述
(800文字以内) [1問]

科目2-3: 地形図と空中写真を判読して 地形判読図・地形分図などを作成
(例えば山地) [1問]

科目2-4: 科目2-3で作成した図に基づき 応用地形学的所見などを論述
(800文字以内) [1問]

※ 科目2-1と科目2-2の計が100点 } 合計200点満点
科目2-3と科目2-4の計が100点 }

選択式ではありません。設問のすべてに解答していただきます。

科目2-1と科目2-3では、地形判読記号の凡例も作成していただきます。

空中写真の判読には、実体鏡をご使用いただけます。

IV. 二次試験

4. 受験の手続き

1) 必要書類の入手

受験に必要な書類は、応用地形マスター I 級の認定証とともにお送りします。

お手元がない場合は、全地連のホームページからダウンロードしてください。無料です。

2) 書類の作成

申請時に提出する書類は、＜受験申請書／写真票（様式・2）＞のみです。

受験申請書は、以下の要領にしたがって作成してください。

- ① 記入はすべて黒インクのボールペンを使って、丁寧な字ではっきりと記入してください。
- ② 申請日、生年月日その他は、西暦で記入してください。
- ③ 氏名には、略称や雅号などを用いないでください。
- ④ 年齢は、申請日で記入してください。
- ⑤ 現住所欄は、居住地の住所等を記入してください。本人確認のため、受験票及び合否通知等は、現住所に記載されている住所宛に郵送します。
- ⑥ 連絡先欄には、最も確実に連絡がとれる電話番号、ファックス番号、メールアドレスを記入してください。このとき、行末のいずれかを選択してください。
- ⑦ 所属機関には、研究機関や学校などを含みます。勤務先（自営の場合は自営として）及び所属部課名、またはこれに相当する事項を記入してください。また、申請時点で無職の方は、「なし」と記入してください。
- ⑧ 一次試験合格の記録欄には、一次試験の合格年、一次試験の受験地及び受験番号を記入してください。
- ⑨ 受験料振込欄には、振込手続きを行った月日を記入してください。
振込依頼人が受験者と異なる場合は、振込依頼人名をご記入ください。
複数名の受験料をまとめて振込まれる場合は、受験者全員の氏名と人数を記入してください。

IV. 二次試験

一次試験の合格と異なる年に二次試験を受験される方は、以下の要領にしたがって写真票を作成してください。一次試験に合格したと同じ年に二次試験を受験される方は、一切不要です。

- ① 申請日前3ヶ月以内に撮影した、本人であることが明瞭に確認できる写真（無帽、正面、上三分身）を使用してください。
- ② 眼鏡使用の方は、着用時の写真。
- ③ 大きさは縦5cm×横4cm程度として、カラー、白黒は問いません。
- ④ 裏面に氏名を記入し、所定の位置に、剥がれないように貼付けてください。
- ⑤ 写真の下欄に、撮影月日を記入してください。
- ⑥ 氏名欄及び一次試験の受験番号欄は、受験申請書と同じ記載をしてください。

《注意事項》

- ・申請内容に誤りや虚偽があった場合、受験することができなかつたり不合格となつたりすることがあります。
- ・身体の不自由な方等で受験に際して特別な措置を希望される場合、申請時に文書で申請してください（文書の様式は問いません）。

IV. 二次試験

3) 受験の申込み

<受験申請書／写真票>を作成し、全地連事務局宛に郵送してください。

受付け期間：2013年9月10日（予定）～ 同年10月15日

応用地形判読士補に未登録の方は、受験申請書と登録申請書を同時に提出することができます。

《注意事項》

- ・申請後は、提出書類の返却はいたしません。
- ・受付けは郵送のみとします。ファックス、電子メール、持参による申込みはできません。
- ・受付け期間内の消印が有効です。期限を過ぎた消印の書類は、受理できません。
- ・申請以降に現住所や氏名が変更になったときは、全地連事務局へ必ずご連絡ください。

4) 受験手数料の振込み

受験手数料は21,000円（税込み）です。

受付け期間内に、II. 4. 4) 受験手数料の振込み（6ページ）に基づき、お振込みください。

振込用紙の依頼人欄には、次を参考に、受験番号とお名前を記入してください。

依頼人欄の記入例：

受験番号9012345の場合 → 9012345 全地連太郎（9012345 ゼンチレントロウ）

なお、二次試験の受験申請と応用地形判読士補の登録申請とを同時に行うときは、受験手数料と登録手数料との合計金額をお振込みいただくことも可能です。

《注意事項》

- ・申請後の受験手数料の返還はいたしません。
- ・振込みに要する送金手数料については、受験者でご負担ください。
- ・受験手数料は、現金書留、定額小為替、普通為替等では納入できません。
- ・インターネットバンクを利用し納入される方は、取引画面のプリントを受験申請書に同封してください。
- ・全地連は、受験手数料振込みの領収書は発行いたしません。

IV. 二次試験

5. 受験票の送付

1) 送付の時期

試験日のおよそ1ヶ月前に送付します。

《注意事項》

- ・11月中旬になっても受験票が届かないときは、全地連事務局にお問い合わせください。

2) 送付の方法

受験票は、受験申請書に記載してある現住所宛にお送りします。

受験票に記載してある一次試験の受験番号と氏名をご確認ください。

《注意事項》

- ・受験票の記載に間違いがあるときは、全地連事務局にお申付けください。ただちに受験者データを修正して、再発行いたします。
- ・受験票は、試験当日必ず持参してください。
- ・受験票は、試験後に合否通知が送付されるまで、大切に保管してください。

IV. 二次試験

6. 受験

1) 試験日時

試験日時：2013年11月30日（土） 10時0分～15時0分

午前の部：10時0分～12時0分 例えは平地（作図及び論述 各1問）

午後の部：13時0分～15時0分 例えは山地（作図及び論述 各1問）

2) 試験会場

全国建設研修センター（URL <http://www.jctc.jp/>）

住所 東京都小平市喜平町 2-1-2 TEL (042) 324-5315

アクセスマップ <http://www.jctc.jp/training/access>



《注意事項》

- ・ 試験会場の手前に、国土交通大学校の正門があります。間違えないでください。

IV. 二次試験

3) 受験にあたって

- ・試験会場へは試験開始の 20 分前までに到着し、受付を済ませてください。
遅刻された方には、受験をお断りする場合があります。受験していただく場合でも、終了時刻の延長はありません。
- ・席は受験番号で指定してあります。指定された席で受験してください。
- ・受験票は必ず持参し、会場担当者の指示にしたがって提示してください。また、試験中は、机の見えやすい位置に置いてください。
- ・次の文房具等をご用意いただき、試験会場へご持参ください。

鉛筆またはシャープペンシル（芯は黒色で HB 程度の硬さ）／プラスチック製消しゴム／拡大鏡／定規／三角スケール／色鉛筆（12 色以上）／軟質色鉛筆（ダーマトグラフなど）／鉛筆削り／実体鏡。
--

- ・空中写真の判読に使用する実体鏡は、持参していただくことを原則とします。
- ・実体鏡は、試験開始前にセットし、状態を確認してください。
なお、試験には机を 2 基使用します。併せた机のサイズは、幅：約 140cm，奥行：約 50cm です。
- ・文房具や実体鏡の貸し出しはいたしません。
- ・携帯電話やアラーム音が出る機器は、入室前に必ず設定を解除し電源を切ってください。
- ・試験会場では、係員や試験監督の指示にしたがってください。
- ・不正行為（試験の進行を妨害する行為、他の受験者の迷惑となる行為、試験の公平性を損なう行為等）または試験監督の指示にしたがわないときは、即刻退場を命じます。この場合、すべての科目について採点から除外し、不合格とします。
また、試験後に、試験の公平性を損なう行為による合格が明らかになったときは、その合格を取り消しとし、その後の手続きもすべて無効とします。
- ・試験問題の内容に関する質問には応じません。問題用紙や答案用紙にページの欠落や不鮮明な箇所があった場合は、手を挙げて試験監督に申し出てください。
- ・問題用紙は、試験終了後または途中退室の際に、各自お持ち帰り下さい。
ただし、答案用紙及び空中写真の持ち帰りは、禁止とします。
- ・昼食や飲み物は、各自で調達してください。また、会場管理者からの指定があるときは、それにしてください。

IV. 二次試験

7. 受験後

1) 合格発表と合格基準

合格発表日：2014年2月24日（予定）

合格通知：受験者全員に「合否通知」を郵送します。《発表日に発送》

合格者名簿（受験番号）を、全地連ホームページに掲載します。《発表日の午前中》

合格基準：4科目すべての正答率が50%程度以上 かつ、
合計得点が満点(200点)の60%程度以上.

上記の合格基準は、目安です。

その他：合格者には、「応用地形判読士合格証」を郵送します。

また、＜応用地形判読士登録申請書（様式-4）＞を同封します。

《注意事項》

- ・3月上旬になっても合否通知が届かないときは、全地連事務局にお問い合わせください。
- ・得点や合否に関するお問い合わせ等は、ご遠慮ください。ご本人であっても、公開いたしません。

2) 登録

二次試験の合格者は、2014年3月31日までに登録申請手続きを行うことで、応用地形判読士に登録されます。

登録は任意ですが、応用地形判読士の名称を用いて地形判読を行うためには登録が必要です。

詳細は、V. 登録〔応用地形判読士〕(22～24ページ)をご覧ください。

V. 登録（応用地形判読士）

V. 登録（応用地形判読士）

1. 概要

二次試験の合格者が応用地形判読士となるには、所定の期間内に登録の申請をして、登録を受ける必要があります。

2. 資格

応用地形判読士は、“応用地形判読士”の名称を用いて地形判読を行うことができます。

3. 登録の手続き

1) 必要書類の入手

登録に必要な書類は、合格証とともにお送りします。

お手元がない場合は、全地連のホームページからダウンロードしてください。無料です。

2) 書類の作成

申請時に提出する書類は、＜応用地形判読士登録申請書（様式-4）＞のみです。

申請書は、以下の要領にしたがって作成してください。

- ① 記入はすべて黒インクのボールペンを使って、丁寧な字ではっきりと記入してください。
- ② 申請日、生年月日その他は、西暦で記入してください。
- ③ 氏名には、略称や雅号などを用いないでください。
- ④ 年齢は、申請日で記入してください。
- ⑤ 現住所欄は、居住地の住所等を記入してください。本人確認のため、「応用地形判読士登録証」は、現住所に記載されている住所宛に郵送します。
- ⑥ 連絡先欄には、最も確実に連絡がとれる電話番号、ファックス番号、メールアドレスを記入してください。このとき、行末のいずれかを選択してください。
- ⑦ 所属機関には、研究機関や学校などを含みます。勤務先（自営の場合は自営として）及び所属部課名、またはこれに相当する事項を記入してください。また、申請時点で無職の方は、「なし」と記入してください。
- ⑧ 合格情報欄には、受験番号と合格証の発行年月日を記入してください。
- ⑨ 登録料振込欄には、振込手続きを行った月日を記入してください。
振込依頼人が登録者と異なる場合は、振込依頼人名をご記入ください。
複数名の登録料をまとめて振込まれる場合は、登録者全員の氏名と人数を記入してください。
- ⑩ 資格者情報として、登録番号、氏名、所属機関名、資格有効期限を、全地連ホームページに公開します。
公開を望まれない方は、「公開しないでください。」の先頭に“○”を記入してください。

V. 登録（応用地形判読士）

3) 登録の申込み

<応用地形判読士登録申請書>を作成し、全地連事務局宛に郵送してください。

受付け期間：2014年2月24日（予定）～ 同年3月31日

この期間内に登録を申請されない場合、二次試験の合格が取消され応用地形判読士となる権利を喪失します。

《注意事項》

- ・ 申請後は、提出書類の返却はいたしません。
- ・ 受付けは郵送のみとします。ファックス、電子メール、持参による申請はできません。
- ・ 受付け期間内の消印が有効です。期限を過ぎた消印の書類は、受理できません。

4) 登録手数料の振込み

登録手数料は8,400円（税込み）です。

受付け期間内に、Ⅱ. 4. 4) 受験手数料の振込み（6ページ）に基づき、お振込みください。

なお、振込用紙の依頼人欄には、次を参考に、受験番号とお名前を記入してください。

依頼人欄の記入例：

受験番号9753100の場合 → 9753100 全地連太郎（9753100 ゼンチレンタロウ）

《注意事項》

- ・ 申請後の登録手数料の返還はいたしません。
- ・ 振込みに要する送金手数料については、登録者でご負担ください。
- ・ 登録手数料は、現金書留、定額小為替、普通為替等では納入できません。
- ・ インターネットバンクを利用し納入される方は、取引画面のプリントを登録申請書に同封してください。
- ・ 全地連は、登録手数料振込みの領収書は発行いたしません。

V. 登録（応用地形判読士）

4. 登録

1) 登録

申請に基づき、「応用地形判読士登録証」を4月中旬に交付します。同時に、全地連事務局が《応用地形判読士登録簿》に登録します。

応用地形判読士登録証の有効期間は5年間です。

応用地形判読士登録簿は、登録証と同じ期間管理します。

《注意事項》

- ・4月下旬になっても「応用地形判読士登録証」が届かないときは、全地連事務局にお問い合わせください。

2) 登録事項の変更

登録後に連絡先（現住所、電話番号、ファックス番号、メールアドレス等）、氏名、所属機関が変更になったとき、あるいは資格者情報の公開／非公開を変更するときは、「変更届」が必要です。全地連事務局へ、必ずご連絡ください。変更手数料は不要です。

また、変更に伴い、あるいは何らかの事由で登録証の再発行が必要なときは、全地連事務局へご連絡ください。有償で再発行いたします。

3) 登録の取消し

応用地形判読士が次のいずれかに該当すると認められたときは、資格を剥奪し登録を抹消します（応用地形判読士資格検定試験規程 第18条）。

- ・応用地形判読士が虚偽または不正の事実に基づいて登録を受けた場合.
- ・応用地形判読士の信用を傷つけまたは全地連の不名誉となるような行為をした場合.

この措置を受けた方は、今後、応用地形判読士資格検定試験を受験することはできません。

4) 登録更新

応用地形判読士登録証の更新には、5年間で継続教育125単位（CPDH単位）の取得が必要です。

早い時期に VI. 登録更新（25～30ページ）をご確認いただき、今後取得するCPDの計画や学習記録の整理にお役立てください。

VI. 登録更新

VI. 登録更新【対象登録年月日：2014年4月1日】

1. 概要

応用地形判読士の資格を継続するためには、有効期間の5年ごとに登録更新の申請をして、登録更新を受ける必要があります。

2. 登録更新の要件

登録の更新には、次に示す継続教育を実施して、5年間に継続教育125単位（CPDH単位）を取得する必要があります。125単位のうち、50単位以上は地形判読に関する内容としてください。

項目	内 容	CPD単位の考え方／単位の年間限度
外部講習会 社内研修 自己学習	地形及び地形判読に関連する講習会／ 地質及び地質調査に関連する講習会／ 社内研修会 などの受講 Web ラーニング などの自己学習	CPD 単位が指定された講習会等は、指定単位を報告する。 CPD 単位が定められていない項目は、「土質・地質技術者生涯教育協議会」等の指標に準じて報告する。 ※ 報告単位数の年間限度：なし
普及活動	地形判読及びこれに関連する委員会の委員 または講習会の講師 などの普及活動	※ 報告単位数の年間限度：なし
実務経験	地形判読業務及び地形判読を活用した 業務／一般の地質調査業務 などの実務 経験	地形判読業務の実務経験：1 業務 5 単位 地質調査業務の実務経験：1 業務 2 単位 ※ 報告単位数の年間限度：10 単位

CPD単位の算出方法については、次ページに示す土質・地質技術者生涯学習協議会または公益社団法人日本技術士会の指標に準じるものとします。

技術士 CPD : <http://www.engineer.or.jp/cmtee/kensyuu/110401keitai.pdf>

《注意事項》

- ・ 応用地形判読士が、定められた期間内に登録更新の申請をしない場合、または、登録更新の要件を満たしていない場合は、有効期限をもって応用地形判読士の資格を喪失します。

VI. 登録更新

土質・地質技術者生涯教育協議会における CPD の基本単位

教育形態	番号	プログラム内容	CPD の 基本単位 (CPD/単位)	CPD 計算例	
				仮定値	CPD
i. 講習会・研修会等への参加	i1	講習会、研修会等への参加	1/ 時間	4 時間出席	4
	i2	講演会、シンポジウム等への参加			
	i3	各種委員会への参加			
	i4	地学巡検、現場見学会等への参加(報告義務のあるもの)	10/ 日	2 日間出席	20
ii. 論文等の発表	ii1	口頭発表(協議会が認める学協会等での発表)	0.4/ 分	15 分発表	6
	ii2	口頭発表(前記以外での発表)	0.2/ 分	15 分発表	3
	ii3	論文発表(学術雑誌等への査読付き論文発表)	40/ 編	1 編執筆	40
	ii4	論文発表(学術雑誌等への査読付き論文発表)(共著)	20/ 編	1 編執筆	20
	ii5	論文発表(一般論文、総説等)	10/ 編	1 編執筆	10
	ii6	論文発表(一般論文、総説等)(共著)	5/ 編	1 編執筆	5
	ii7	地質技術者に役立つ技術図書等(標準類含)の執筆	1/ 頁	6 頁執筆	6
iii. 企業内研修及び OJT	iii1	企業内研修および OJT	1/時間	3 時間出席	3
	iii2	大学、研究機関(企業を含む)における研究開発・技術業務への参加			
iv. 技術指導	iv1	講習会等の講師	3/時間	2 時間出席	6
	iv2	社内研修会等の講師	2/時間	2 時間出席	4
	iv3	論文等の査読(学協会等から依頼のあるもの)	20/ 編	3 編査読	60
v. 業務経験	v1	学協会や発注者の表彰を受けた業務等	20/ 件	1 件表彰	20
	v2	所属長が優れた成果と認めたもの	10/ 件	1 件認定	10
	v3	特許取得(発明者に限る)	40/ 件	1 件認可	40
	v4	現場管理経験(主任技術者、現場管理人、掘削機長、物理探査班長等)	5/ 件	2 件	10
	v5	現場経験(一般調査員)	2/ 件	5 件	10
vi. その他	vi1	技術委員会等への出席(議長・委員長の場合)	2/時間	2 時間出席	4
	vi2	技術委員会等への出席(委員・幹事の場合)	1/時間	2 時間出席	2
	vi3	自己学習(学会誌購読等)、「地質と調査」の購読	0.5/時間	2 時間実施	1
	vi4	技術資格の取得	20/取得	1 種類取得	20
	vi5	災害調査、研究調査等への参加	20/箇所	1 カ所参加	20
	vi6	国際機関への技術協力(議長・委員長)	20/会議	1 会議出席	20
	vi7	国際機関への技術協力(委員・幹事の場合)	10/会議	1 会議出席	10
	vi8	地域活動への参加	20/箇所	1 カ所参加	20
	vi9	エコツアー、ジオツアーへの参加(報告義務のないもの)	5/ 日	2 日間出席	10
	vi20	上記以外で協議会が CPD と認めるもの	他に照らして適宜判断する		

※ 応用地形判読士では、次の番号及びプログラム内容を以下のように読替えるものとする。

v4 : 地形判読及び地形判読を活用した業務 CPD の基本単位 : 5/件
v5 : 地形判読を伴わない地質調査業務 CPD の基本単位 : 2/件 } 年間の上限を合計 10 単位

VI. 登録更新

3. 登録更新の手続き

1) 必要書類の入手

登録更新に必要な書類は、全地連のホームページからダウンロードしてください。無料です。

2) 書類の作成

申請時に提出する書類は、＜応用地形判読士登録更新申請書（様式-5）＞と継続教育の裏付けとなる“CPD 記録簿等（名称及び様式は問いません）”の2点です。

申請書は、以下の要領にしたがって作成してください。

- ① 記入はすべて黒インクのボールペンを使って、丁寧な字ではっきりと記入してください。
- ② 申請日、生年月日その他は、西暦で記入してください。
- ③ 氏名には、略称や雅号などを用いないでください。
- ④ 年齢は、申請日で記入してください。
- ⑤ 現住所欄は、居住地の住所等を記入してください。本人確認のため、新たな「応用地形判読士登録証」は、現住所に記載されている住所宛に郵送します。
- ⑥ 連絡先欄には、最も確実に連絡がとれる電話番号、ファックス番号、メールアドレスを記入してください。このとき、行末のいずれかを選択してください。
- ⑦ 所属機関には、研究機関や学校などを含みます。勤務先（自営の場合は自営として）及び所属部課名、またはこれに相当する事項を記入してください。また、申請時点で無職の方は、「なし」と記入してください。
- ⑧ 登録情報欄には、登録番号と登録年月日及び有効期限を記入してください。
- ⑨ 継続教育の記録欄には、登録されているCPD管理団体名と、対象期間内に取得したCPD単位数を記入してください。

また、取得単位の裏付けとなる“CPD 記録簿等（名称及び様式は問いません）”を、必ず添付してください。

- ⑩ 更新料振込欄には、振込手続きを行った月日を記入してください。

振込依頼人が登録更新者と異なる場合は、振込依頼人名をご記入ください。

複数名の登録更新料をまとめて振込まれる場合は、登録更新者全員の氏名と人数を記入してください。

VI. 登録更新

CPDの取得期間：2014年4月1日～登録更新申請の日

CPD記録簿等には、CPDごとに以下の14項目を記載してください。

① 番号：時系列に整理したCPD記録に、1番からの通し番号をつけてください。	
② 主催者名：CPDの内容に応じて、次を参考に記入してください。 講習会等の受講または講習会等の講師 → 行事を主催した機関名 社内研修会等への参加または社内研修会等の講師 → 企業名（例：当社 ○○(株)） 論文等の発表 → 行事を主催または企画した機関名 技術書の購読等 → 自己学習 委員等への出席 → 委員会を主催した機関名 業務経験 → 発注者名（下請負人で受注した場合は元請負人も併記）	
③ プログラム名：CPDの内容に応じて、次を参考に記入してください。 講習会等の受講または講習会等の講師 → 講習会等の名称 社内研修会等への参加または社内研修会等の講師 → 研修会等の名称またはテーマ 論文等の発表 → 発表場所（発表会または書籍等の名称）及び論文等のタイトル 技術書の購読など → 学習等の目的またはテーマ 委員会等への出席 → 委員会名等 業務経験 → 業務名称	
④ プログラム番号：講習会等の主催者が整理番号等を割当てている場合は、その番号をご記入ください。	
⑤ 教育分野：	登録団体により異なります。任意でご利用ください。
⑥ 教育形態：	
⑦ 開始年月日：	CPDの実施期間について、開始年月日または終了年月日を、西暦で記入してください。資格取得によりCPDを取得した場合は、資格取得日を両方に記入してください。
⑧ 終了年月日：	
⑨ 参加単位：	取得したCPD単位と、その算出根拠となる数量、単位及びCPD単位を記入していただきます。算出根拠となる数量を⑨、単位を⑩、取得したCPD単位を⑪に記入してください。 ・記入例：自己学習を3時間実施しCPD単位を1.5取得した場合 → ⑨参加単位=3 ⑩単位=時間 ⑪CPD単位=1.5 ・⑪CPD単位に小数点以下が生じるときは、0.5単位刻みで記入してください。 ・主催者が設定したCPD単位がある時はその単位を⑪に記入し、目安として⑨及び⑩も記入してください。
⑩ 単位：	
⑪ CPD単位：	
⑫ 主催者証明：CPD取得証明書に相当する書類がお手元にある場合は、“○”を記入してください。書類がない場合は“－”としてください。 ※ 取得証明書の有無が更新の可否に影響することはありません。ただし、取得の証拠として、書類の提出を求めることがあります。	
⑬ 認定機関名：⑫と関連して、CPDを付与した機関名を記入してください。 申請者本人がCPDを算出した場合は「本人」、勤務の場合は「勤務先」と記入してください。	
⑭ プログラム内容：登録更新の対象となるCPDであるかを判断する重要な項目です。取得されたCPDの内容について、客観的に分かりやすく書いてください。	

《注意事項》

- ・下線を付した②と③及び⑦～⑭は、必須項目です。必ずご記入ください。

VI. 登録更新

3) 登録更新の申込み

＜応用地形判読士登録更新申請書＞を作成し、取得単位の裏付けになる資料を添付して、全地連事務局宛に郵送してください。

受付期間（予定）：2018年12月1日～2019年1月15日

この期間内に登録更新を申請されない場合、登録証に記載している有効期限をもって、応用地形判読士の資格を喪失します。

また、登録更新に必要な継続教育の単位数に満たないときも、同様とします。

《注意事項》

- ・申請後は、提出書類の返却はいたしません。
- ・受付は郵送のみとします。ファックス、電子メール、持参による申請はできません。
- ・受付期間内の消印が有効です。期限を過ぎた消印の書類は、受理できません。
- ・申請された CPD の内容について、更新の対象となるか否かの判断がつかない場合は、内容確認のためご連絡を入れさせていただきます。

なお、申請内容によっては、書類の再提出を求める場合があるほか、CPD 取得を証明できる資料（CPD 取得証明書、社内研修の資料、自主学习資料教材など）の提出を求めることがあります。

- ・また、申請された CPD は、内容により更新の対象外と判断することがあります。対象になるとお考えの CPD が 125 単位を超えて取得されている方は、申請の際、CPD 記録簿等に所要の単位数を超えて記入されることをお勧めします。

4) 登録更新手数料の振込み

登録更新手数料は 8,400 円（税込み）です。

受付期間内に、II. 4. 4) 受験手数料の振込み（6 ページ）に基づき、お振込みください。

なお、振込用紙の依頼人欄には、次を参考に、登録番号とお名前を記入してください。

依頼人欄の記入例：

登録番号 13-012 の場合 → 13-012 全地連太郎（13-012 ゼンチレンタロウ）

《注意事項》

- ・申請後の登録更新手数料の返還はいたしません。
- ・振込みに要する送金手数料については、登録更新者でご負担ください。
- ・登録更新手数料は、現金書留、定額小為替、普通為替等では納入できません。
- ・インターネットバンクを利用し納入される方は、取引画面のプリントを登録更新申請書に同封してください。
- ・全地連は、登録更新手数料振込みの領収書は発行いたしません。

VI. 登録更新

4. 登録更新

1) 更新の登録

申請に基づき、新たな「応用地形判読士登録証」を、4月中旬に交付します、同時に、《応用地形判読士登録簿》を更新します。このとき、更新しても登録番号は変わりません。

《注意事項》

- ・4月下旬になっても「応用地形判読士登録証」が届かないときは、全地連事務局にお問い合わせください。
- ・新たな「応用地形判読士登録証」が届いたときは、有効期限の過ぎた登録証を廃棄してください。

2) 登録事項の変更

登録更新後に現住所、氏名、所属機関が変更になったときは、「変更届」が必要です。全地連事務局へ、必ずご連絡ください。変更手数料は不要です。

また、変更に伴い、あるいは何らかの事由で登録証の再発行が必要なときは、全地連事務局へご連絡ください。有償で再発行いたします。

お 願 い

本資格検定試験制度では、登録更新に『技術者の継続教育(CPD: Continuing Professional Development)』制度を採用し、更新に必要な単位数を設定しています。

しかし、CPD制度の細部は確立されておらず、時代の要請に応じて変化しつつあります。そのため、登録更新を受けられる5年後には、CPDの基本単位(26ページ)あるいはCPD記録簿等に記載していただく項目(28ページ)の変更などもあり得ます。

登録更新の要件を変更する際は、全地連ホームページに予告掲載いたします。あらかじめ全地連ホームページをご確認のうえ、登録更新に臨まれるよう、お願いいたします。

Ⅶ. その他

Ⅶ. その他

1. 個人情報の保護

この手引きにより申請された個人情報は、全地連「個人情報及び企業情報保護方針」に基づき取扱います。応用地形判読士資格検定試験及び登録に係る事務手続き以外の目的で利用することは、ありません。

2. 不可抗力による試験の中止等

台風、地震その他の不可抗力により、試験を中止する場合があります。

この他、一部地域で受験できない状況が発生したとき等は、受験日または直後の営業日に、全地連事務局へご連絡ください。状況に応じた対応を検討いたします。

3. e-learning について

一次試験（多肢択一式と記述式）の問題及び一次試験（多肢択一式）の正解は、一次試験実施の翌々日から3年間程度、全地連ホームページで公開しています。

4. 参考図書

書 籍 名	著 者 編 者	発 行 者	備考*
建設技術者のための地形図読図入門 1～4	鈴木 隆介	古今書院	共通
技術者のための地形学入門	熊木 洋太 ほか	山海堂	共通
技術者のための空中写真判読	武田 裕幸・今村 遼平	共立出版	共通
地形分類図の読み方・作り方 改訂増補版	大矢 雅彦 ほか	古今書院	共通
地形工学入門	今村 遼平	鹿島出版会	共通
日本の地形 1 総説	米倉 伸之 ほか	東京大学出版会	共通
土木技術者のための現地踏査	島 博保 ほか	鹿島出版会	共通
危ない地形・地質の見極め方	上野 将司	日経 BP 社	共通
画でみる地形・地質の基礎知識	今村 遼平 ほか	鹿島出版会	共通
防災地形（第2版）	水谷 武司	古今書院	共通
写真と図でみる地形学	貝塚 爽平 ほか	東京大学出版会	共通
発達史地形学	貝塚 爽平	東京大学出版会	共通
地形変化の科学	松倉 公憲	朝倉書店	共通
地球のテクトニクスⅠ 堆積学・変動地形学	箕浦 幸治 ほか	共立出版	共通
目でみる山地災害のための微地形判読	大石 道夫	鹿島出版会	共通
空中写真による地すべり調査の実際	日本測量技術協会	鹿島出版会	共通
建設技術者のための 土砂災害の地形判読実例問題（中・上級編）	井上 公夫	古今書院	共通
山地の地形工学	日本応用地質学会	古今書院	二次
地すべり地形の判読法	大八木 規男	近未来社	二次
活断層地形判読	渡辺 満久・鈴木 康弘	古今書院	二次

注) 上記の参考図書は、出題とは関係ありません。

備考欄の“共通”は一次試験と二次試験に共通した、“二次”は二次試験の参考図書です。

5. CPD の自己管理

全地連では、関連する学協会などと連携した『土質・地質技術者生涯学習協議会』を組織し、土質・地質技術者の継続教育を支援するための生涯学習ネット<ジオ・スクーリングネット>を運営しています。

このサイトでは、利用者登録を行うことにより、i) 講習会の紹介、ii) 講習会の受講申請、iii) 受講証明書の発行、iv) 学習記録の登録と管理ができます。このサイトの利用は、無料です。

ここで登録した CPD 記録は、応用地形判読士の登録更新に必要な項目 (28 ページ) を網羅しています。既にジオ・スクーリングネットをご活用の方は、こちらを利用されると便利です。

詳しくは、次のホームページをご覧ください。

ジオ・スクーリングネットのホームページ <https://www.geo-schooling.jp/>

以上

<参考>

◇ 応用地形マスター I 級/応用地形判読士補

一次試験に合格した年度	応用地形判読士補への登録申請 および/または 二次試験受験の期限
2012 年度	2016 年 10 月中旬*
2013 年度	2017 年 10 月中旬*

注) 10 月中旬*は、当該年度二次試験の受験申請書の受付け期限を意味します。

◇ 応用地形判読士

応用地形判読士 登録証の発行年月日	応用地形判読士 登録証の有効期限	登録更新の受付け期間 (予定)
2013 年 4 月 1 日	2018 年 3 月 31 日	2017 年 12 月 1 日～2018 年 1 月 15 日
2014 年 4 月 1 日	2019 年 3 月 31 日	2018 年 12 月 1 日～2019 年 1 月 15 日

注) 登録更新の受付け期間及び方法の詳細は、該当する年度の 11 月頃、全地連ホームページでご確認ください。

2013 年度（平成 25 年度） 第 2 回 応用地形判読士資格検定試験
受験から登録までの手引き

<お問い合わせ／お申込み先>

一般社団法人全国地質調査業協会連合会 事務局 応用地形判読士係

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-5-13 内神田 TK ビル 3 階

Tel. (03) 3518-8873 Fax. (03) 3518-8876

<http://www.zenchiren.or.jp/>